

環境調査結果のお知らせ

令和5年6月15日午前に野見湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が21.2～22.5℃、塩分が30.1～33.8、溶存酸素量が6.2～7.7 mg/Lでした。
湾内の透明度は4.5～5.5mでした。
検鏡の結果、魚類に対して有害なデイクチオカ属が最高で70 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所又は水産試験場までご連絡ください。

水温と塩分(表1・2)

水温は21.2～22.5℃、塩分は30.1～33.8でした。
前回調査時(R5.5.18)と比較して、水温は全層で0.2～1.9℃上昇しました。塩分は全層で0.6～1.8低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.2～7.7 mg/Lでした。
前回調査時と比較して、全層で0.3～1.9 mg/L減少しました

透明度・プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は4.5～5.5mでした。
検鏡の結果、魚類に対して有害なデイクチオカ属が最高で70 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

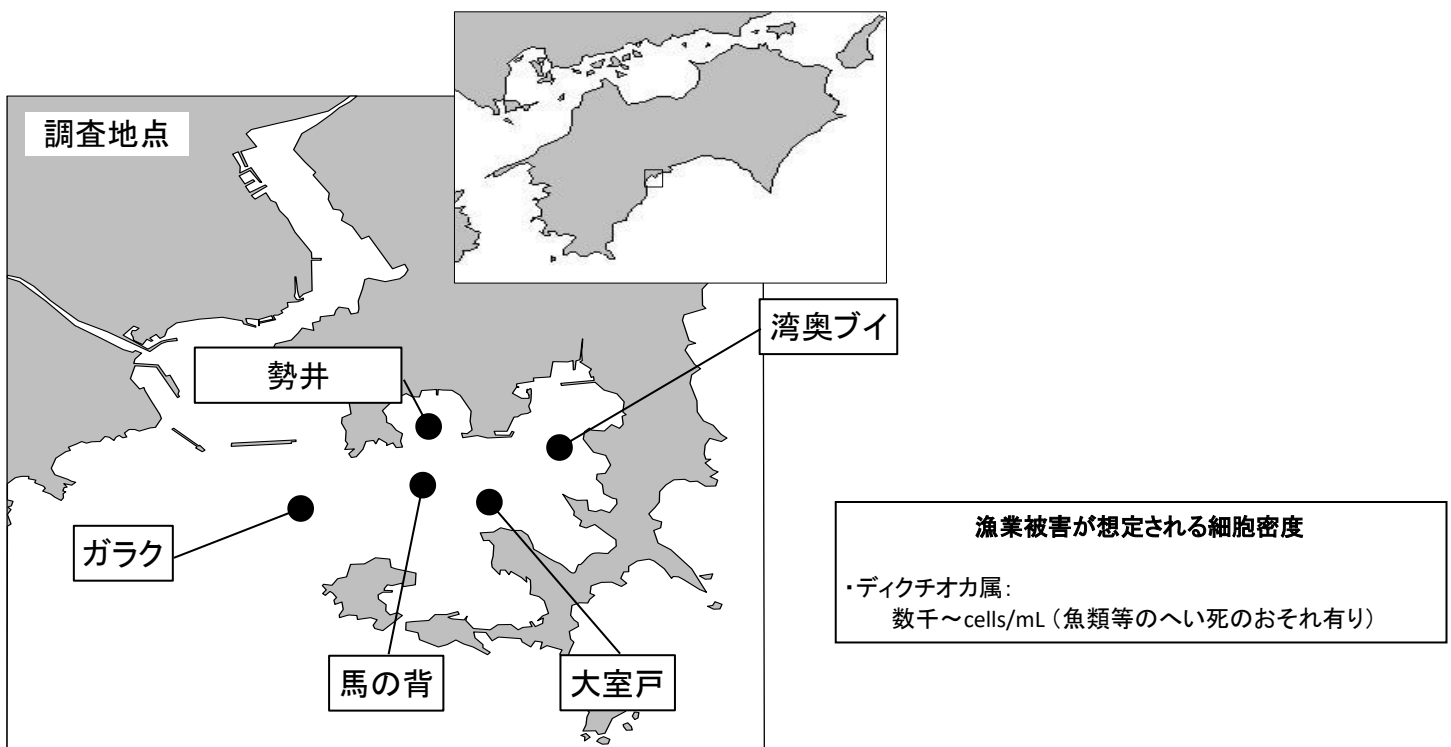


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R5.5.18)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	22.5	22.0	21.8	22.0	22.0	22.1	21.9	0.2
2m	22.0	21.9	21.8	22.0	22.0	21.9	21.4	0.5
5m	21.7	21.9	21.7	21.8	21.8	21.8	20.9	0.9
10m	21.3	21.5	21.6	21.5	21.4	21.4	19.8	1.6
B-1m	21.2	21.2	21.4	21.2	21.2	21.2	19.3	1.9

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R5.5.18)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	30.7	30.2	30.1	30.1	30.7	30.4	32.2	▲ 1.8
2m	31.3	31.3	31.2	30.1	31.0	31.0	32.8	▲ 1.8
5m	31.8	31.5	31.8	31.7	31.7	31.7	33.1	▲ 1.4
10m	33.0	32.7	32.5	32.9	32.9	32.8	33.7	▲ 0.9
B-1m	33.6	33.7	33.0	33.8	33.6	33.5	34.1	▲ 0.6

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R5.5.18)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	7.7	7.6	7.3	7.5	7.1	7.4	8.5	▲ 1.1
2m	7.0	7.4	7.1	7.5	6.9	7.2	8.5	▲ 1.3
5m	6.3	7.1	6.5	6.9	6.5	6.7	8.6	▲ 1.9
10m	6.2	6.5	6.8	6.3	6.3	6.4	7.7	▲ 1.3
B-1m	6.8	6.9	6.7	7.0	6.8	6.8	7.1	▲ 0.3

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	勢井
水深	15.4	20.0	15.0	20.8	20.1
透明度	5.5	5.5	5.5	4.5	4.5
前回(5/18)	4.5	4.5	4.5	4.5	5.0

表5 プランクトン(cells/mL)

調査地点	水深	デイクチオカ属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	25	0
	2m	19	0
	5m	7	0
大室戸	0m	7	0
	2m	3	0
	5m	18	0
馬の背	0m	8	1
	2m	19	0
	5m	9	0
勢井	0m	19	2
	2m	10	0
	5m	70	0
ガラク	0m	26	2
	2m	9	1
	5m	18	0